



編集発行 南国市広報委員会 電話(代表451番) 印刷所 川北印刷KK 広報は...みんな読むもの...つくるもの

# 十一年の建設計画を樹立

## 黒字一億円に

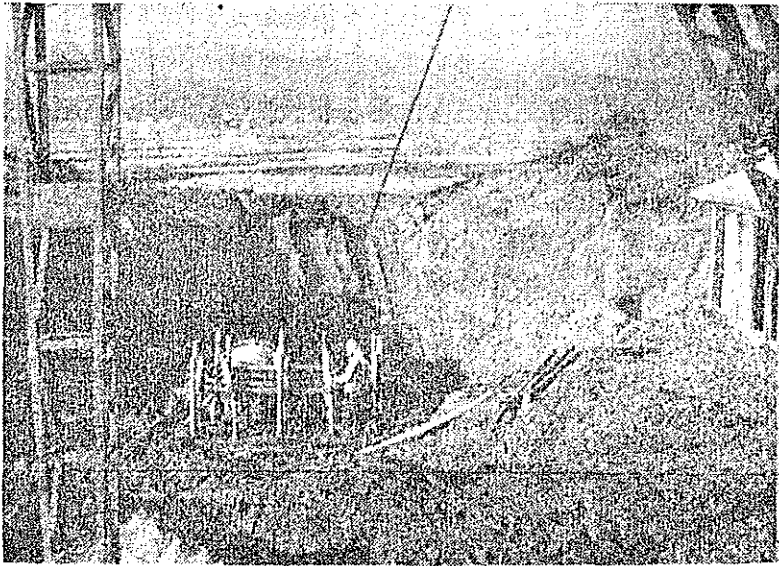
市の今後をたずねる市の建設計画は、昨年十二月の基礎調査に基づき、この基本計画を立案、建設審議会の承認を得た。この基本計画は三十五年を初年度とし、四十四年度に終る十一年計画で、これが実施については、五カ年毎の二期に分かれて実施される。まず、三十五年度から三十九年度までの五カ年間に実施計画を樹立し、建設審議会の承認を得たが、今度の定例市議会に上程、議決を得て実施される。

# 飛躍する田園都市に

この基本計画は、十一年にわたる市政、産業、経済、教育などあらゆる面についての方向を示したもので、各年度の予算もこの基本方針に基づいて編成される。

## 財政再建を強力に推進

市発足当時(三十四年十月)に特許寄った八千四百萬円の赤字は、同年度末に一億一千三百万円となり、当時の年間市税収入(約八千万円)をはるかに上廻る赤字となった。このため三十五年度から、財政再建準備団体の指定を受け、八カ年計画で財政再建を計っているところから、才入財源の確保に全力を尽くし、才出は、消費的



市の土木事業は躍進する。写真は三和地区後川のハンランを防ぐための、第二放水路建設工事で完成近い。

## 人口の増加対策

現在の市の人口は減少の一途で、出生、死亡による自然増減は、家族計画の浸透と、医療、衛生面の進歩により年々相殺され、四十四年度頃は、人口の割合にはさほどの増加はみられない。

### 本号の主な記事

- (一 面)
  - △十一年の建設計画を樹立
  - △また強い公明選挙
- (二 面)
  - △座談会—平担地におけるこれからの農業経営
  - △「豆科学」明の秘密
- (三 面)
  - △90年を過ぎた戸籍制度
  - △市内あちこち
  - △十休のふるさと国府村史
- (四 面)
  - △市民の声—茂久川
  - △人学前につけておきたい生活習慣

## 農地造成と農道に重点

田園都市の樹立を大本として、やはり農林水産に重点がおかれている。延長二千二百五十キロ、受益面積三千七百二十五ヘクタールと減反するが、計費に二億二千五百万円、用水路の新設改修に一億五千四百万円、(延長百九十里、受益面積二千三百五十二ヘクタール)里山開墾による農地造成に、二億四千五百万円、別に四億円(うち一億四千万円受益者の私費)の井水、排水路の新設改修、区画整理、作業機械化、耕土培養、耕種改善など土地の利用配分を並行させ生産を引き上げることとなっている。

## 教育学校を統合

### 職業の指導 厚生

生活環境の異なる地域の特長を生かして、学校の統廃合に積極的に対応し、教育の機会均等と社会教育の充実を計る。また、給食施設を全小中学校に行き、学校給食を全学校で実施する。現在十七校の小中学校を十三校、公民館、総合グラウンドなどの施設を行う。

## 商店の近代化と

### 資源 開発

企業診断を行い商店の近代化をすすめる。従来の一種の力による経営から、合理化した計数的経営を指導する一面、購意欲を高める方法を講じてゆく。穴内川ゲムの完成による区分の水を工業用水に利用し、工場誘致に努め、北部の石灰石開採を輸送路の整備により、軌道にのせ谷の石灰石など、重点的に開発し、長尾尾を観光のホープとし、水溜二期



## (東工業)高校工事始る

新設地の去就で注目されていた、県立高知東工業高校は昨年未だの県議会で、市内藤原に本決りとなり二月始めから埋立工事が始まった。このほど起工式が行われ、同校の総工費は三億五千九百万円、本館、実験室(鉄筋三階)機械工場(鉄骨平屋)と体育館などを建てる第一期工事は、普通教室八特別教室二、図書室、事務室、事務室など三、八五五平方

## 小児生ワク投与終る

小児マヒの生ワクチンの投与は二月下旬から市内十七カ所で行われた。今度の投与は、生後三ヶ月から小学六年までの児童で、投与した児童数は、見込数の八十五%、五千八百四十四人であった。未投与の児童は流産の関係が多く、改めて投与されることを望んでいる。なお、今度の生ワクは二、三型の投与が行われる予定。二、三型の生ワクは、一型ワクチンの投与者のみに投与される模様。

## 窓口事務をカード方式に

出先機関を再検討をなし、三階建てを約七千万円で、合理的な事務処理のため窓口事務を統一し、市民サービス第一主義に徹するなど、行政機構の改善を行う。職員の資質向上の研修はもとより、道路網の整備、通信施設の拡充、各種施設の整備、市庁舎(鉄筋)の強化を計る。

## 強力な啓発活動実施へ

市の選挙管理委員会では、二月二十二日大衆公民館で公明選挙「話しあい」助言者講習会を開いた。代表による公明選挙の話しあいと、三十六年度の公明選挙運動の反省、つづいて明年度の運動方針を協議し公明選挙推進協議会の組織の配置による、強力な運動体制の確立、社会教育課と協力し、公民館、青年会、婦人学校など、各種社会団体の学習に「話しあい」運動をすすめ、政治意識を高めると、啓発活動を充実させることと決めた。

## 優勝は香南中

- 第二回柔道大会
- 市主催の第三回柔道大会は、二月二十五日後野田小学校で、高知工業高校から十二チームが参加して開られた。成績次の通り。
- 中学校(団体)
- 一位 香南中学校、二位、山田中学校、三位、山田中学校
- 一般(個人)
- 一位 遠藤満喜(高知市) 二位 徳久晋夫(香長中) 三位 西岡 隆(山田中)
- 一般(団体)
- 一位 高知工業高校 二位 高知農業高校 三位 川添道場
- (段外)
- 一位 浜田俊彦(追手前) 二位 岡崎排次(高知高) 三位 伊藤広文

## 建設審議会 委員決る

- 会長 井上満吉(議会議長) 副会長 山下熊太郎(市商工会長、市議) 委員 北岡博、浜田善治、福川藤茂、小川良水、島内福喜、高木正徳、橋田信夫(以上市議) 西村信久(教育委員長) 金堂久(農業者代表) 横矢健一(公民館役員) 農協組合長 武田香壽美(農協幹部) 元県都計課長 鈴木正美(同) 鈴木農機常務取締役 竹内英喜(市総務課長)